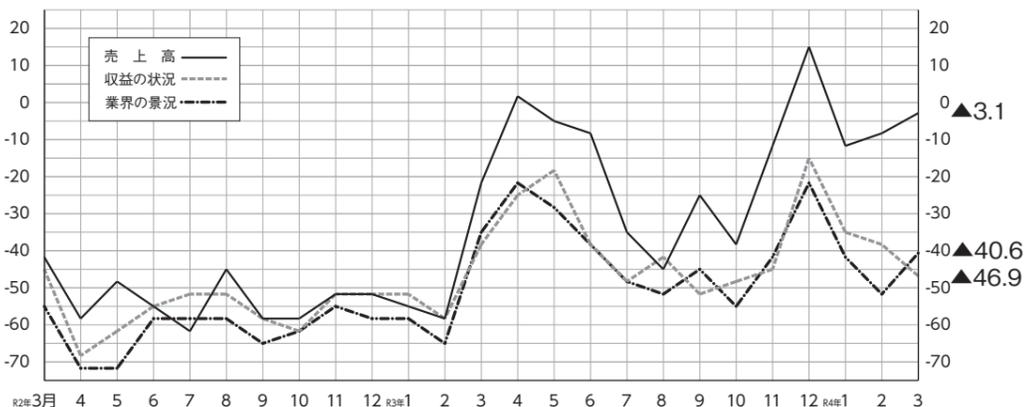




DI(景気動向指数)

情報連絡員報告



業界の状況

- …好転
- …不変
- …悪化

	電気機械器具小売	3月度は前年比106%、全体的に好調だった。リフォーム関連は前年比108%、テレビ前年比98%。
--	-----------------	--

	食品団地	3月度商況は、前半が新型コロナの影響にて低調。半ばからやや持ち直しとなった。一般的に業況は低調。原材料・燃料・資材等の値上がり急激であり、販売価格への転嫁ができない企業も多く収益的に厳しい状況が続いている。
	酒類製造	辛うじて前年維持だが、飲み控への習慣に慣れ回復には時間が必要か。飲食街もコロナ前の活気には程遠い状況。
	テントシート	まだまだコロナの影響でイベント関連主力の組合員は大変な状況である。
	木製品素材生産	スギ・ヒノキともに量、価格ともに横ばいの状況である。
	製材	原木等の原材料の品不足傾向が続いている。
	建具	新型コロナの影響で先が見えず廃業する人が増えてきている。逆に残ったところはビジネスチャンスだと思われる。
	製紙(家庭紙)	家庭紙の主原料であるPULP価格が再度上昇傾向、同時に為替が円安に振れ、ダブルパンチを受けている。その他、資材、薬品、運賃、等々の高騰を受け価格転嫁に動いているが、難航している。厳しい状況が続く。
	生コンクリート製造	業界の景況については、令和4年になってからは「不変」が続いているが、売上は、1月が「減少」、2月が「不変」、3月が「増加」となっている。
	刃物製造	売上高は増加したものの、新型コロナの関係が小売業への納品額は減少している。海外向けの品物と4月からの値上(価格改定)を前に受注が増加した。
	機械団地	各事業所とも資材高騰や品薄の課題を抱えている。売価への価格転嫁や代替品対応などで売上や収益を確保しており、業況は前年同月を上回る事業所が増加している。
	船舶製造	生産状況は引き続き高い水準で推移している。新型コロナウイルスの影響は少ない。
	珊瑚装飾品製造	3月の取引額は、前年同月比139%となったが、新型コロナ禍前と比較すると、依然回復の兆しが見えない。
	青果卸売	仕入れ原価及び販売価格の上昇のため、前年同月よりは売上高はアップしたが、依然として新型コロナの影響は続いており、業務関係は不調である。

	中古自動車小売	展示車両の確保が厳しいが、注文買の件数が伸びているので売上高、販売台数は前年同月と同水準となっているが、業界全体の相場価格の上昇により利益確保が難しい。
	商店街(高知市)	中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比91.0%、台数:前年比89.9%。3月下旬の高知大丸リニューアルオープン以降、来街者はかなり戻ってきたように思われる。
	商店街(四万十市)	物価の値上がりは影響が大きく、販売価格を上げる店舗は多い。イベントは規模を縮小して実施。シンプルだが面白くない。中止になるよりはありがたいというのが現状。飲食店の明かりが戻ってきて観光客が増えたのを感じる。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比43% 全旅クーポン合算で、55%。県民対象の旅行割引が実施されているが、県内限定の為、組合クーポン売上に繋がらない状況である。

	印刷	昨年同等の数字は確保した模様。但し各企業によって売上加減が多々見られる。又県内需要、県外需要も業種によって同様の傾向が見られる。
	コンクリート製品	出荷数量は、前年同月比87%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返して、令和4年3月分は減少に転じた。
	卸団地	1.景気回復が感じられないまま、仕入れ商品の値上やガソリン代高騰等経費が上昇してきて、経営に影響が出ている。2.マンボウ明けで、飲食店は通常営業が可能になっているが、鮮魚をウリにしているような店は営業していない店も多く、通常の売上には戻らない状況である。
	生鮮魚介卸売	カツオは順調に入荷している。マグロは高値の入荷が続いている。去年と比較すると需要はある。全体的に高値の仕入れのため、売上高は高くなっているが、利益率は……
	各種小売(土佐市)	まだまだ新型コロナの影響がいろんな職種に生じている。小売店には厳しい状況が続いている。
	ガソリンスタンド	新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻により原油価格上昇が止まらず、政府の価格変動緩和政策も上限に達した。原油価格は乱高下しているため、補助金で実質価格もプラスマイナスを繰返しており安定しない。
	商店街(安芸市)	新型コロナウイルス感染症の影響で、今年もひなまつりのイベントが中止となった。まん延防止措置が解除され、若干、人の流れも増えてきたが、感染者数の増減によって変動がみえる。
	旅館・ホテル	新型コロナ第6波は5波までと異なり、収まりが悪く、早くも7波の心配から予約が入りづらい。見込みもつかず、業績の見通しは悪い。
	飲食店	前半はまん延防止で集客は非常に少なかった。後半は徐々に増えたが月の売り上げは先月程度か。仕入れ価格の上昇は今までになく大きく収益状況悪化に拍車をかけた。
	クリーニング	ホームクリーニング売上は微減。チェーン店は、人件費・家賃の負担割合が大きく苦戦。ホテルリネンも観光客が戻らず苦戦。病院リネンは売上堅調。ガソリン、灯油、重油やハンガーなど石油製品価格の上昇で、経費増。新型コロナウイルスの影響でリモートワークによるワイシャツの減少、外出着の減少が続いており、今後も同様の傾向が続くと思われる。
	一般土木建築工事	セメントメーカー各社よりセメント製造時に用いる輸入石灰価格の急騰、および海上運賃の高騰を要因とする、大幅なセメント価格改定の申し入れがあり、自助努力だけで吸収できる範囲を大きく超えており、早急な販売価格への転嫁を余儀なくされている。また、混和剤(材)や輸送費更に産業廃棄物処理費用の値上げ要請もあり、現行単価プラスα当たり2,000円~3,000円程度の販売価格改定の要請を県下全地区の組合員に行った。全体的には令和4年4月1日(一部令和4年2月1日)出荷分より改定をお願いしている。ただし、過去の経緯、現在の市場価格より高知市内の価格改定は、難航が予測される。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事は、前年同月比87.9%となった。高知中央および須崎地区以外は減少した。
	一般貨物自動車運送	新型コロナウイルスの影響により組合員企業の業績は業種により明暗が分かれている。燃料の高騰は経営の大きな負担となった。組合事業は前年比で微減だった。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月比営業収入:80.1%、輸送回数:80.3%、実働率は45.0%。まん延防止等重点措置は解除されたが、なかなか利用者が増えず、同時に運転者も退職者に比べ採用者がなく稼働率が悪いいため、総収入が少ない現状。